

「頭頸部がん・脳卒中や神経筋疾患患者における構音障害の特徴と経時的変化-後方視的研究-」に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 リハビリテーション医学

職名 講師

氏名 村岡 香織

連絡先電話番号 03-5363-3833

実務責任者 所属 リハビリテーション医学 職名 講師

氏名 村岡 香織

連絡先電話番号 03-5363-3833

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院中にリハビリテーション治療(言語療法)を行った患者さんに対する下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいませようをお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2008 年 1 月-2018 年 12 月 31 日までに、構音障害のためにリハビリテーション治療(言語療法)をうけ、課題文音読課題の録音をされた方

2 研究課題名

承認番号 20190007

研究課題名 頭頸部がん・脳卒中や神経筋疾患患者における構音障害の特徴と経時的変化-後方視的研究-

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室

4 本研究の意義、目的、方法

【意義・目的】

構音障害(しゃべりにくさ)は、コミュニケーションを制限する重大な機能障害ですが、これまで客観的かつ簡便に評価する方法がなく、疾患や治療による構音障害の程度や特徴、経時的変化に関する知見が乏しく、治療(リハビリテーション)効果の判定も困難でした。そこで、先行研究として、音声認識ソフトを用いた構音障害の評価を考案し、その評価法が妥当であることが示されました。そこで、今回は保管されている過去の音読課題の録音データを用いて音声認識ソフトを用いた構音障害の評価を行い、口腔がん術後や脳卒中後・神経筋疾患における構音障害の特徴や経時的変化を検討します。この研究の結果は、構音障害患者のリハビリテーション方法の検討や、予後予測に役立てられると考えられます。

【方法】

リハビリテーション治療(言語療法)の過程で録音された課題文音読課題の録音データを用います。音声認識ソフトで認識・書き起こされた文章と元の課題文との一致度(正答率)を求め、疾患や術式による正答率の差や、経時的変化を検討します。

5 協力をお願いする内容

対象となる患者さんの基本情報(疾患名や術式など)を収集し、リハビリテーション治療の際に録音した録音データを分析します。

6 本研究の実施期間

西暦 2019 年 4 月 26 日 ~ 2021 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した情報を結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 村岡 香織

電話番号 03-5363-3833(リハビリテーション医学教室 ダイアルイン)

以上